

- ・対象地域: 様似町
- ・地域人口: 4,724人 (H25年度末住民基本台帳)
- ・漁港: 様似漁港(3)、鶺鴒漁港(1)、冬島漁港(1)、旭漁港(1)
- ・漁業協同組合: 127人 (H26.4月)

様似地域マリンビジョン

～極上な資源の再評価と最大限の活用～

- 拠点漁港のタイプ
- 衛生管理流通拠点



【位置図】



現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区人口の減少、高齢化 ○ 産業は漁業が中心
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水産業と観光・商工等の関連産業が一体となった6次産業化の仕掛けづくり・地域PRの推進 ○ 地域一体での衛生管理の推進等による商品化 ○ つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大 ○ 漁業高齢化・担い手確保対策 ○ 津波など自然災害に対応できる安心・安全な漁港づくり ○ 外来船受け入れ体制強化による漁港の広域性向上 ○ 漁港の多面的利用の適正な推進

地域の目指す姿

■ ビジョンの特徴

大自然で育った上質の水産物を、衛生・品質管理向上により、足腰の強い商品へと強化する。豊かな様似の観光資源を有効利用し、訪れる観光客へのPRをきっかけに『様似ブランド化』を目指してきたが、日高管内一体でのブランド化になっているので、更に販路拡大へと繋げ、地域振興を図る。

① 経営安定・後継者確保による持続的な水産業の形成

- ・ 地域一体での衛生管理・出荷調整・活〆による商品力の強化
- ・ 漁港静穏域を活用した増養殖による水産資源の維持・増大
- ・ 外来船への付加価値提供と受け入れ体制強化による漁港広域性向上

・ 津波など自然災害に対応できる安心安全な漁港づくり

② 様似特有の資源を活用して連携強化による漁村の活性化

- ・ 全国から来訪する観光客への地場産水産物の提供と、地場産の特徴・取組等のPR情報を同時発信する仕掛けによる『様似ブランド』の認知度向上
- ・ 直販等による、域内消費の拡大、地元における地場産の良さの再確認

地域マリンビジョン協議会

《メンバー》

- ・ 漁業関係者
- ・ 商工関係者
- ・ 観光関係者
- ・ 漁港利用者
- ・ 行政

※協議会の下に部会を設置し、取り組み体制を強化

- ・ 作業部会(沖合、刺し網等の漁業者、漁協女性部、消費者協会、観光、商工等)
- ・ 衛生管理部会(漁業者・加工・漁協・行政)

地域資源(特徴)

- ツブ、タコ、コンブ、サケ等の豊富な水産物
 - 日本ジオパークに認定された「アポイ岳ジオパーク」や、日本の地質百選に認定された「アポイ岳と高山植物群落」
 - 変化に富んだ美しい海岸線
 - 日高線の終着駅としての様似駅
- 【主な地域資源等】
- ・ 親子岩
 - ・ 新巻サケ、サケの山漬等のサケ加工品
 - ・ 日高コンブの特産品・・・等

漁港の将来性

① 衛生管理流通拠点漁港

- ・ 屋根付き岸壁、清浄海水取水・排水処理
- ・ 外来船対応機能(係留)の強化等

② 増養殖支援拠点漁港

- ・ 泊地の増養殖活用等

ビジョン実現のための主な取り組み

- 生産から流通まで地域一体での衛生管理推進体制の構築
- 関連機関が連携したITを活用による水産物のPR
- 地場産水産物の購入機会・場の創出
- 外来船の陸揚げサポート体制の充実